

## ■ 効果の見える治水事業

かぶらぎきてんま  
愛媛県 蕪崎天満海岸整備事業

### 『津波・高潮危機管理対策緊急事業での護岸補強』

愛媛県東予地方局四国中央土木事務所長 やまだ やすはる  
山田 康晴



#### ■ 事業の概要

蕪崎天満海岸は、愛媛県の東端(四国の中央)にある四国中央市の西部に位置し、天満漁港と蕪崎漁港に隣接する延長2,569mの海岸で、背後の堤防天端は区域内唯一の生活道路である市道蕪崎天満海岸線が占用しております。

また、当海岸は二級河川関川の河口部に隣接しており、潮干狩りができる遠浅の海岸でシーズンには潮干狩り客でにぎわうとともに、海岸線は地元ボランティア等の継続的な清掃活動のおかげで美しい姿を保っています。

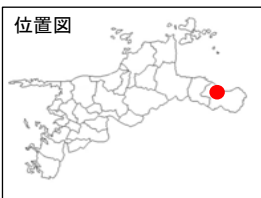
堤防は海拔の低い人家及び農地を守るため昭和50年代前半に整備されたものであり、老朽化による機能低下が進んでいたことから、かねてより津波・高潮等による破堤等が懸念されており、地元から強い改修要望が寄せられていました。

このため平成20年度に、津波・高潮危機管理対策緊急事業で既設護岸を補強し災害に備えることとなりました。実施にあたっては、老朽化の著しい法覆部前面に補強コンクリート等を施工するとともに、クラック等の損傷の激しい堤防天端胸壁部は、剥落等の発生が懸念されるため撤去再設置しました。

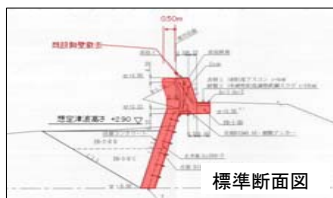
工事概要は次のとおりです。

【事業概要】  
事業期間 H20  
工事内容  
護岸破堤防止工 172m

位置図



標準断面図



## 「安全・安心に生活できる災害に強いまちづくりを目指して」

いほら たか  
四国中央市長 井原 巧



四国中央市は、その名前の通り四国のほぼ中央に位置し、面積約420平方キロメートル、人口約9万3千人の市です。瀬戸内海燧灘に面した本市は、津波・高潮危機管理対策緊急事業での護岸補強を取り組んで頂いた蕪崎天満海岸を含む東西に約25キロメートルの海岸線が広がり、その南に細長い市街地が形成されています。さらに南側には急峻な法皇山脈から四国山地と続く山間部を擁し、その豊かな自然から恵まれた豊富な水資源によって製紙・紙加工関連の産業や市民の生活が支えられています。工業統計調査による本市のパルプ・紙・紙加工品製造業の製造品出荷額等は5年連続日本一を誇っています。

平成16年に相次いだ台風による集中豪雨により、市内142ヶ所で家屋などの浸水被害が発生しました。翌年から浸水対策プロジェクトを立ち上げ、その全箇所では被災状況調査と分析を行い、水路改良や排水ポンプ施設の整備など、浸水被害の防止・軽減に努めてきました。さらに、これら浸水被害箇所のうち甚大な被害を繰り返している13ヶ所について「浸水対策基本計画」を策定し、整備事業を進めています。

今回、紹介する宮川ポンプ場はその計画箇所の中でも、浸水被害が特に広範囲に及んだ箇所です。宮川は、本市の東部に位置する川之江町の市街地を流れ、市管理の準用河川となっており、流域の多くが低地のため、満潮時には海水が逆流することから河口に樋門を設け、昭和29年と48年、55年にポンプ場を整備し、満潮時には、河川から海への排水が可能となりました。しかし、市街化の進展による対象人家の増加や近年頻発する集中豪雨による浸水被害増大への対応が必要となっていることや、施設の老朽化による事故等を回避するため、施設の能力向上・更新が急務となっております。このため、平成21年6月にポンプの改修工事に着工し、今年8月に完成。自動運転機能も備わり、突発的な豪雨にも対応可能となりました。工事完成後には地域住民への見学会などを開催し、安全・安心への関心を深めました。

今後も、浸水対策調査報告書に基づき、過去の災害状況や緊急・重要度などについて総合的に評価し、順次整備を行う予定にしています。

これからも、市民が安全かつ安心して生活できる災害に強いまちづくりを目指し、浸水対策事業等を実施していきたいと考えています。



地域住民を対象に施設見学会



宮川ポンプ場